※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「明解　歴史総合」（帝国書院）						
副教材等	「歴史総合の整理と演習」（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近現代を中心に日本史と世界史を結びつけた新しい科目です。現代的な諸課題につながる近現代の史を学びながら、歴史的なものの見方、考え方を身につけていきましょう。単に知識を得るだけでなく、なぜそうなったのかという問いをたてて、自分で歴史的事実の確かさや順序、相互の関連を見極め、それに基づいて説明ができるようになってほしいと思っています。そのためには、日頃から新聞やテレビ、インターネットなどのメディアを通じて入ってくる情報を、自分の頭で考えながら、現代の問題を歴史的な視野のもとで深く理解できるようになってください。

2　学習の到達目標

・国際関係や文化を思想や宗教などの歴史的なつながりの中で理解する。
・社会的事象に歴史的な見方と考え方をはたらかせ，課題を追究したり解決したりする。
・グローバル化する国際社会に主体的に生きる能力を身につけさせる。また、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：近現代史に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の歴史的な形成を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察できる。また、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身につける。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。多面的・多角的な考察や深い理解を通して、自国の歴史に対する愛情とともに他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚も深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	諸地域世界の形成	1. 東アジアの文明 2. 南・東南アジアの文明 3. 西アジア・北アフリカの文明 4. ヨーロッパの文明 5. 南北アメリア の文明	a:世界各地の文明の形成と国際関係や各地域の特徴について、理解している。 b:朝貢貿易による秩序の在り方や貿易による各地域のつながり、各地の宗教の特徴などについて、考察や表現ができている。 c:各地の支配権力の変遷や宗教の伝播、現代とのつながりなどを、資料や地図を用いて追及しようとしている。	テスト	テスト ノート	ノート レポート
	近代化と私たち	1. 江戸時代の日本と結びつく世界 2. 欧米で生まれる国民国家 3. 産業革命による欧米とアジアの変化 4. 日本における近代国家の形成 5. 帝国主義の影響と日本を含めた東アジアの変化	a:18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジアと欧米間の貿易などを基に，18 世紀のアジアの経済と社会について理解している。18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、それに影響を受けた日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成について理解している。 b:近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問題点を把握している。各歴史事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察ししている。 c:近代化と現代を生きる私たちについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	テスト	テスト ノート	ノート レポート

※令和４年度以降入学生用

後期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	1.第一次世界大戦とその影響 2.大衆社会の形成と社会運動 3.揺らぐ国際秩序と日本の行方 4.第二次世界大戦とその影響 5.国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	a: 国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する史料や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 世界恐慌とファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史について理解している。 b: 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問題点を整理している。 経済危機の背景と影響, 国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定している。 日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:国際秩序の変化や大衆化と現代を生きる私たちについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	テスト	テスト ノート	ノート レポート

※令和４年度以降入学生用

	グローバル化と私たち	1.冷戦で揺れる世界と日本 2.多極化する世 3.グローバル化のなかの 世界と日本 4.歴史総合の振り返り	a:冷戦と国際関係、人と資本の移動や高度情報通信、食料と人口，資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 冷戦の終結と民主化の進展，地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題について理解している。 b: グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを設定している。各事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、持続可能な社会の実現を視野に入れて主題を設定している。 日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察している。 c:グローバル化と現代を生きる私たちについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。	テスト	テスト ノート	ノート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度